

ハレハレドの丘

2014
3月
No.28



目次

みことば・きらりん	2
巻頭言	3
ヴォイス(1)	4
おでかけ・できごと	6

ヴォイス(2)	8
ぽっかぽか	10
ぴかぴかぴか・人事・お知らせ	11
行事予定・編集後記	12



きらりん☆ デジカメ愛好会



デジカメ愛好会をはじめました！

介護福祉士 芦刈朝寿

2013年4月より、写真撮影が好きな利用者の方を対象に
デジカメ愛好会を作り、月に1回のペースで撮影会を行っています。

まず、みんなで集まり挨拶をし、それぞれ自分の撮りたい物を探して散策をしながら、晴れ渡った空の下、四季折々の花や撮影している仲間などを撮って楽しんでいます。施設周辺の散歩を兼ねて行えるので、利用者の方々も気分転換になり楽しんでいる様子がうかがえています。

また、外に出られない雨の日などは、室内での撮影や、今までに撮り溜めた写真の観賞会を行って仲間の撮影した写真を見て互いに評価し合っています。

9月14日の「家族の日」には1人4枚を選び展示し、自分たちの作品がご家族、ボランティア、職員の皆さんに見てもらえたことで、喜びを感じているようでした。

その後、利用者の方からは「今度いつするの」と何度も声を掛けられます。趣味の会として始めたデジカメ愛好会活動でしたが、参加利用者の方々の笑顔や積極的に取り組む姿を目の当たりにし、今後も継続する事で定着させていきたいと考えています。



巻頭言

施設長 佐藤 圭右

二月一三日午後から降り始めた雪は、大分県下では、JR久大線脱線事故を始めとする人的被害やビニールハウスなどの農業被害、通行止めなどの道路被害、停電や断水などを引き起こしました。ここ恵の聖母の家でも、停電など直接の影響が認められました。三年前の東日本大震災以降、非常時の備えは考慮していたものの、それが十分だったのか、改めて考えたいと思います。

【停電発生→暖房・上水・通信】

一三日夜からしばしば瞬時停電が見られていましたが、一四日午前二時ごろより停電となりました。自動的に切り替わった自家発電装置により、人工呼吸器や生体情報モニタなどの生命に直結する医療機器や最低限の照明は確保されました。しかし、それ以外の電気器具は使えなくなりました。そのうち、入所利用者さんが使用しているエアマットは、空気がすぐに抜けることはないので、さしあたっての支障はありませんでしたが、暖房が使えなくなりました。入所利用者さんは布団で暖を取ると共に、一部では石油ストーブも利用しました。しかし、広い施設を十分に暖めることはできず、体温の上がりにくい利用者さんをそのストーブの周囲に集めることくらいしかできませんでした。また、電気器具が使えないため、厨房での

調理にも支障が出ました。朝はパンと牛乳でしたが、昼はおじや、夜はカレーライスという非常食対応を行いました。

さらに、当施設は高台にあるため、上水道はいつたんポンプで貯水槽に組み上げ、それを利用しています。停電でポンプが止まれば、上水も貯水槽にある分しか使えず、上水の節約を呼びかけました。

電話などの通信機器も、当初はバッテリーで駆動していましたが、数時間でそのバッテリーも切れ、外線のみの使用となり、院内の通話はできなくなりました。その外線も、外部の交換機の支障なのか、受信はできますが、発信はできず、外部への発信は携帯電話頼みでした。しかし、その携帯電話も基地局の停電のためか、通話は弱々しい状態でした。もちろん、コンピュータは使えず、電子メールも携帯電話を通じてのみでした。

その中で、県健康保健部障害福祉課から雪の被害情報の問い合わせがあり、以上の状況を報告したためでしょうか、他の野津地区よりも早くに復旧し、午後四時ごろ、電気が使えるようになりました。野津地区全体が復旧したのは、一五日午前〇時頃だったそうです。

【職員不足】

停電よりも深刻だったのは、職員の不足でした。職員は、一四日の朝、出勤してきたの

ですが、通勤路の通行止めなどがあり、途中で引き返さざるを得なかつた者も少なくなかつたようです。また、近隣の職員は車が動かせらず、雪の中、歩いて出勤する者も多くいました。さらには、通勤に困難を生じるだろうからと、既に一三日の夜から施設内に泊まつて対応する職員もいました。それでも、通常の出勤者数には遠く及びません。

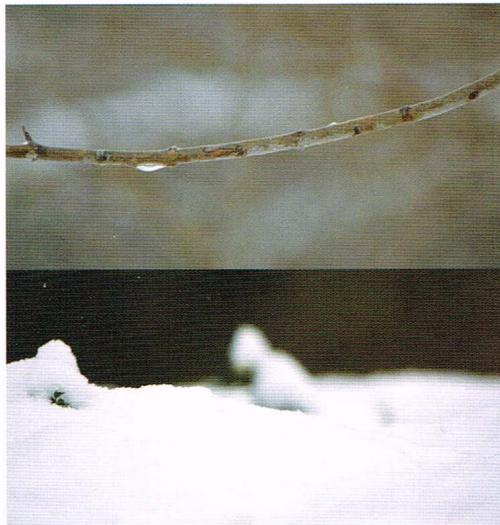
そのような中、入所利用者の介護に加勢してくれたのは、臨時休園した児童発達支援センターの職員と、洗濯場などで働く普段利用者と直接接することのない職員でした。実は、万一の時のため、介護に必要な手として、そのような職員にも利用者さんに接し、専門職の指導を受けながら、介護に参加するようにしていました。その経験が、今回のようなときに活かされたと感じています。

まさに、恵の聖母の家が一体となつて非常時に対処しているように感じました。

【教訓】

今回の出来事を詳細に検討し、冷暖房や上水、通信機器の整備など施設の努力で改善すべきことは今後していくことが必要だと思われます。また、介護の面でも、直接処遇職員のみならず、それ以外の職員の介護研修も、利用者の皆さんの同意の下、今後も積極的に行う必要があると痛感しました。

今後も恵の聖母の家は、「家」としての機能を失わず、助け合っていきたいと思います。



失われた二十年とは?



放射線技師 清永 高明

最近ネットの記事を見ていると、日本の失われた二十年という言葉を目にする事がよくあります。大分はバブル以前から景気が良くなかったので気がつかなかつたのですが、ネットで調べてみると、バブル経済の崩壊が平成二年頃、当時の最高株価三万八千九百円が一萬三千八百円になっていました。去年のアベノミクスによって株価が八千円から現在一万五千円に持ち直していますが、あまり景気が良くならないのは未だにバブル崩壊後よりも安値だからなのでしょうかね?

すが
・
・
・
・
・
あ、じひひにせよ庶民は見ているだけ

年度	失業者数	失業率	経済成長率
1994	192万人	2. 88%	1. 19
1995	210万人	3. 15%	1. 38
1996	225万人	3. 35%	1. 89
1997	230万人	3. 38%	1. 91
1998	279万人	4. 10%	-1. 81
1999	317万人	4. 67%	-1. 54

率の表を見てみると次の様になります。バブル後の簡単な経済成長率と失業率の表を見てみると次の様になります。

どうやら成長率が落ちると、失業者数が増加し社会不安や税収不足に陥るようです。バブル後の簡単な経済成長率と失業率の表を見てみると次の様になります。

活課 生福社 来園



介護福祉士 尾島 舞



去る一月二十日、恵の聖母の家に病棟職員扮する、宝塚歌劇団の大地ひかりさん・丘のぞみさん・廣場あゆみさんが来園され、歌を披露し、利用者さんとのふれあいを楽しみました。これは、感染防止のため日にちは変わってしまいましたが、お正月行事で使う予定の初笑いの出し物で、利用者さんがコツコツ準備してきたものでした。前列の特等席で三人の登場を待っていたある利用者さんは、美しく女装した男性職員や凛々しい男役の女性職員が現れるとな、ぱっと目を見開き、とても嬉しそうにしつかり見ていたとの報告をうけました。私は後方から見ていましたが、本当に美しく本物の宝塚かと見紛うほど

準備段階では、ビール紐でポンをたくさん作り、それを針金に付けて大きな羽根にするという地道な作業が行われ、アイデアと多くの職員の愛がつまった出し物でした。様々な反応を示す利用者さんの楽しげな表情に刺激され、今年も利用者の皆さんに楽しんでいただきたいと、気持ちを新たにしました。

利用者さんの中には、なかなか反応を示すことができない方が多く、いつもどのようなことが喜ばれるのだろうかと悩んでばかりいますが、丁寧に準備していくことと小さな反応を読み取る日々の積み重ねで、少しづつでも前進していきたいと思います。





私の休日

看護師 竹尾 志穂

はじめは、あのペ・コンジョンの「冬のソナタ」からですね。「天国の階段」「秋の童話」など最初は純愛ストーリーだったのですが、今では泥沼の愛憎劇や復讐劇にはまってしまいました。最近では「福寿草」にはまっています。よくあんなにいろんなストーリーを考えつくなあと感心して観ていました。まあ、そこから自分で続きを想像いや妄想するのが楽しいのですが…。

主人からは「んな意地悪なドラマばかり観たら性格が悪くなるぞ」と言われます!!でも、次から次に新しいドラマが始まるので楽しめるんだけど、はまりすると夜中まで観てします。なので大変ですよ。だけど最近は家でじっとDVDばかりで体重増加気味なので何か運動を考えているところです。��くか心配ですが…。

皆さんの休日は何をして楽しんでいますか?

朝、起きてから子供を学校に送り出し、洗濯・掃除・買い物!の後は私の時間が始まります。DVDを観るのですが。海外ドラマも好きで観るのが特徴韓国ドラマを見るのが大好きなんです。

はじめは、あのペ・コンジョンの「冬のソナタ」からですね。「天国の階段」「秋の童話」など最初は純愛ストーリーだったのですが、今では泥沼の愛憎劇や復讐劇にはまってしまいました。よくあんなにいろんなストーリーを考えつくなあと感心して観ていました。最近では「福寿草」にはまっています。大晦日には除夜の鐘と同時に神社に初詣に連れて行かれます。父は紋付き羽織袴、母は訪問着に絵羽織姿、私はというと、上から下まで新調した服を着せられて、まっ暗な中、懐中電灯の明かりをたよりに神社まで歩いていくのです。今までこの波、境内にはたくさんの屋台がお祭りのように所狭しと並んでいますが、その頃には人っ子一人、私達親子以外歩いていませんでした。帰宅してやっと寝たかと思うと起され、お節料理をあわただしく食べ、次は元旦登校。全校生徒千二百人あまりが講堂(今いう体育馆)でしょうか)に集います。舞台の前面にあ

看護



託児所



日本の生活文化について

保育士 長友 幸子

新しい年を迎えて(お正月)という言葉に何を思うかと改めて考えました。私にとってのお正月は初詣にはじまり元旦登校日、ただただ宮崎弁で言う「よだき」の一言で言い表されます。なぜかというと、我が家では新年を迎えるにあたり毎年繰り返されている行事がありましたが。それは現在も続いています

大晦日には除夜の鐘と同時に神社に初詣に連れて行かれます。父は紋付き羽織袴、母は訪問着に絵羽織姿、私はというと、上から下まで新調した服を着せられて、まっ暗な中、懐中電灯の明かりをたよりに神社まで歩いていくのです。今までこの波、境内にはたくさんの屋台がお祭りのように所狭しと並んでいますが、その頃には人っ子一人、私達親子以外歩いていませんでした。帰宅してやっと寝たかと思うと起され、お節料理をあわただしく食べ、次は元旦登校。全校生徒千二百人あまりが講堂(今いう体育馆)でしょ



とにかく私にとっては、お正月は大晦日から始まる長い一日、よだきはあまり耳にすることもなくなりました。改めて思い起こすと、今はあまり耳にすることもなくなった唱歌。先生方の正装姿、友人達と着物で興じた羽根つき、亡き父母の凛とした正装姿に懐かしさと郷愁を感じるのは年をとった証拠でしょう。

(注 元旦登校 私の郷里の話だけ)



の小学校であり、紅白まんじゅうをもらつたとのこ

こがれ、自国の生活文化を省略しながら過ごしてきた反省をこめて、これからのお後は日本の生活文化のもつ意味を一つひとつ楽しみながら、できるだけ実行していきたいなと思います。

こんな日本の生活文化の中で育てられた子供時代もある」と。「うそー」「ふるー」「なにそれ」と言わそうですね。遠い昔から脈々と伝えられた行事、約束事の中には私達の祖先が大切にしてきた素晴らしい知恵や物語が大切にしまってあります。オリンピックでの「お・も・て・な・し」もそうだと思います。昨今の核家族化、地域社会の崩壊は、後の世代に伝えられにくい状況をつくりだしたのでしょうか。日本の生活文化を伝え大切に残していくのも私達の責任ではないでしょうか。

このがれ、自国の生活文化を省略しながら過ごしてきた反省をこめて、これからのお後は日本の生活文化のもつ意味を一つひとつ楽しみながら、できるだけ実行していきたいなと思います。

できごと

おでかけ

2013年12月19日(木) もちつき

病棟ホールと園庭にて行いました。園庭で火をおこして釜で蒸し、臼に入れて杵でつく、昔ながらのやり方です。ホールで出来上がりを待っていた入所や通所の方々とのところにもお米のいい香りが漂ってきて、思わず笑顔がこぼれたようです。醤油や黄粉をつけて美味しいいただきました。手伝って下さった皆さま、ありがとうございました。



2013年12月24日(火) サンタプレゼント

2013年も病棟にサンタさんがやってきました。最近はサンタガールやトナカイさんも衣装が楽しく、サンタさん以上に注目を集めているようです。



2013年12月25日(水) クリスマスミサ

交流ホームで入所、通所、地域の皆さんとお祈りを捧げました。ミサの中で神父さまは、「通常、人は病院で生まれてきます。馬小屋を選んで生まれてくる子はいません。しかし、キリストのそばには両親がいて、自分を大切にしてくれる大人たちがいました。子どもは愛される環境でないと幸せになれません。家庭の愛からすべてが始まっています。人の命は美しく、人を平和にします」とのお話を下さいました。

2014年1月1日(水) お正月行事

2014年の始まりも各病棟を獅子がまわって、この一年を元気に過ごせるように一人ひとりの頭を噛んでまわりました。びっくりした方、楽しまれた方もおられて、賑やかな年明けとなりました。



2014年1月7日(火) 永年勤続表彰

1月の全体朝礼の前に永年勤続表彰が行われました。施設長からは、これまでの勤務の労いと更なる向上、そして後進の指導への期待の言葉がありました。これからもよろしくお願いします。



2013年11月15日(金) ランチバイキング

第3回ランチバイキングがひかりの大地の利用者、スタッフ、保護者の参加のもと、病棟ホールを使って開かれました。「多数のメニューの中から自分で選択できる喜びを感じ、食事の楽しみをいつもとは違うレストランで食べる形で楽しんでもらいたい」との職員の強い思いがこめられた会食です。開催にあたっては、利用者から人気メニュー（主食、主菜、副菜）をいくつかあげてもらって、その後、栄養課に依頼し、検討後、栄養バランスも考慮の上、利用者の希望にそったメニューを作っていく形で行っています。各利用者のカロリーに合わせた量をバイキング方式に作って、予備が欲しい方を見越して用意しています。食事形態は、普通食、粗刻み食、きざみ食、ミキサー食になります。また、バイキングですので、1人の方が同じものを2つ欲しいという場合に備えて1つの形態を2つ用意しています。ウエイターやウエイトレスは職員が務め、参加された方も緊張なくメニューを楽しく選ばれています。今回参加された方のアンケート回答をもとに、第4回目が開かれる予定です。

2013年11月24日(日) 横の実少年少女合唱団公演

交流ホームで潔き聖母の家の皆さん、恵の聖母の家の皆さんと一緒に美しい歌声を聴かせていただきました。歌のジャンルも幅広く、とても楽しめる内容でした。ありがとうございました。



2013年12月14日(土) クリスマスの集い

今回はアカペラグループの“aico”さま、そして“クロミィ&ミホ”さま、臼杵ウインドアンサンブルの皆さんが歌声や演奏を聴かせてくださいました。最後は聖劇を通してクリスマスの意味を皆で確かめました。会場にはたくさんの方が来場されどもにぎやかに楽しく進めることができました。ご協力いただいた出演者の皆さんをはじめ、ボランティアの皆さん、関係者の皆さんありがとうございました。



2013年11月28日(木) 施設外療育予備

施設外療育に参加できなかった方を中心に、道の駅みえまで外出活動を行っています。冬空で気温も下がっていたのですが、サトイモの袋を手にされてにこにこ顔の方、入所後初めての施設外療育となった方は声かけ等に身体の動きをとめて、じっと耳を傾ける様子もみられました。



2013年12月8日(日) 歳末助け合いチャリティーショー

ディズニーキャラクターたちをコンセプトに「シンデレラ・ピーターパン・白雪姫・ロビンフット・美女と野獣」の5役をそれぞれの入所者が演じました。はじめは少し緊張した様子もみられましたが、花束の贈呈があつて会場が拍手で一体となると会場の雰囲気にも慣れて、笑顔もみられるようになりました。



ランチバイキング



2013年11月2日(土) 野津町文化祭

第8回野津町チャリティーショーが中央公民館で開かれ、療育の発表や地域交流を兼ねて恵の聖母の家のフェアリーテイルズのメンバー5名も参加して演奏してきました。曲目は「ジングルベル」とSMAPの「ありがとう」で、緊張した入所者もおられました。照明が当たられ、カラフルな色に変わったステージに気を取られた方もおられたようです。無事に役目を終え、入所者も職員もホッとしたしました。



2013年11月10日(日) 秋のふれあい会

隣接している障害者支援施設「潔き聖母の家」の文化祭に遊びに行ってきました。天候も回復し、気温もあがり、参加しやすい一日となりました。会場では野津高校と太鼓部の演奏やフラダンス等様々な催しがあり、恵の聖母の家の参加者もそれぞれに楽しむことができたようです。販売等もあり、入所の方も自分で綿菓子を買って楽しむ等、社会参加ができました。



2013年11月14日(木) ときめき作品展

様々なハンディと共にそれを持っている能力を開花し、集大成を発表させていただく空間で、作品を通して共に歩み、共に生きて行くことをあらためて考え始めています。大分県障害者社会参加推進協議会主催で毎年開催されています。2013年も11月14日から11月18日までの期間に、アートプログラマで絵画、写真、書、工芸、陶芸、合作等の分野でたくさんの作品が展示されました。恵の聖母の家からも個人で4点、グループ活動から1点、児童発達支援センターめぐみから個人4点を出展しました。出展された入所者の中から2名の方が会場に足を運んでいます。到着後、やや眠そうにしていた方もじっと作品を見入ったり、「来年もまた出したい」と創作意欲をわかせた方もおられました。





児童発達支援センターめぐみ

クリスマスと新年・・・

一一〇一三年十一月

十四日 午前中は園内のホールを借りてクリスマスレクを行いました。今回は皆で双六を行っています。サイコロを振つて目の数だけ進み、コマが止まつたマスの指示に従う内容です。今回はクリスマスのクイズも取り入れながら、また四季の花の名前をあげる等、季節にも触れながら皆で楽しみました。



午後からは施設行事のクリスマスの集いに参加しました。「はじめの言葉」は、十一月からセンターの利用を始めた方が、自己紹介を兼ねてつとめてくれました。支援者がマイクを向けて声掛けを行いながら紹介していくと、ご本人も一緒に声を出してくれて、ご家族も大変喜ばれています。



プログラムはボランティアの方による優しい歌声や曲の演奏が中心で、会場もとても和やかな雰囲気となりました。またメインである聖劇出や出演者の紹介、練習風景等がムービーで紹介され、センター利用の皆さんもとてもゆったりと映像も楽しみながら参加することができました。

二十四日 午前中は園内のホールを借りてクリスマスレクを行いました。今回は皆で双六を行っています。サイコロを振つて目の数だけ進み、コマが止まつたマスの指示に従う内容です。今回はクリスマスのクイズも取り入れながら、また四季の花の名前をあげる等、季節にも触れながら皆で楽しみました。

午後からは施設行事のクリスマスの集いに参加しました。「はじめの言葉」は、十一月からセンターの利用を始めた方が、自己紹介を兼ねてつとめてくれました。支援者がマイクを向けて声掛けを行いながら紹介していくと、ご本人も一緒に声を出してくれて、ご家族も大変喜ばれています。

二十五日 クリスマスミサ
交流ホームで病棟入所者、そして地域の方とともにお祈りをささげました。ミサの前にはハンドベルの演奏があり、透き通った音に皆、いい気持ちになつたようです。

センターではクリスマスの期間中、ささやかなプレゼントをサンタさんから利用者の方に贈りました。

七日 風あげ
正月遊びの第二弾として午後から風あげを行いました。風も時たま、まああ吹いて、いい風あげ日和でした。はじめにスタッフが風をあげると、じゅむ風が巻いている感じで、風もぐるぐると回りながら落ちてしまい、ずっとあがっているというのは難しい状況でした。ただ、風がある間に利用者の方に風糸をバトンタッチするこどもできました。利用者の方も手もとを見ながら関心を示していました。

屋内から風あげを観覧した方々も差し込む陽が暖かく、気持ちよい午後となりました。

私が今の仕事についた時は六十一歳でありました。この年で仕事を続けらるるか心配をしていましたが、若い人の力にまかれ、今日まで仕事を続けることができます。仕事の内容は、「生涯介護の送迎」と常に運転が伴う特殊な毎日でした。このような状況の中で私が自信を持ってお話ができることは、無事故無違反だったことになります。無事故無違反の達成ができたのは次のことを行いました。このように運転をする。無事故無違反の達成ができたのは、自分の身体を十分にベストに保つことです。

右項の三項目を守るために、まずは自分の身体を十分にベストに保つことではないかと思います。
最後に恵の聖母の家の益々の発展と皆様のご健勝を心からお祈り致します。

十九日 もちつき

午前中の病棟の行事に生活介護のメンバーで参加しました。今年はつ

きたてのぎゅうひを醤油、黄粉等をつけて美味しいだいています。味に対しても一口入ると、目を大きく開けて「うんうん」とうなずく方や固い表情で確認されるように味わう方等、それぞれにもちつきを楽しみました。

一一〇一四年一月

六日 巨大カルタ取り
お正月遊びとして巨大カルタを取りに行きました。絵と文字がはつきりわかる巨大なカルタを壁側に立てかけて、句が読み上げられるごとに皆で取りに行きました。勝敗の方は取った枚数だけではなく、カルタに

スタッフ 柴田 春光
慣れ親しだ恵の聖母の家（センターめぐみ）を去るにあたり、長年お世話になつた職場の上司、親友の方々に、まず心より深く感謝を申し上げたいと

思います。

8

テイサービス送迎



訓練



経験と感謝とそして成長

作業療法士 高畠 悠太

私はですが、作業療法士を目指した理由は、「地元（佐伯）貢献」でした。しかし、今は地元ではなくこの施設（野津）で勤務をさせて頂いています。もし、タイムマシーンで学生の私にそれを言つたら不思議に思うと思います。みなさんはなぜだと思います？（笑）

私がここにいる理由。それは、「感謝の気持ち」を考えるようになつたからです。

約二年前、私は病棟職員として約半年勤めさせて頂きました。その年の私は試験に失敗し、「これから、どうしよう」と試験に落ちただけで先が真っ暗になつっていました。縁あって、この施設で看護助手として働き、利用者様やご家族、職員の方々との日々で、「平凡な日常のありがたみ」を感じるようになりました。そして、試験勉強のため退職する時期を迎えるのを楽しみにしていました。多くの言葉を頂きました。その後、朝から夜までの勉強生活の中では、それぞれの“かたち”で心配や気遣いを家族全員がしてくれました。また、同じ不安を抱えながらも互いに

支えあつた同級生、後輩との毎日。模試では最後まで合格点をだせず、「限界…？」と弱氣になつておつりました。ただ、そんな時に「成長した姿で会えるのを楽しみにしているね」「悠太、大丈夫」などの言葉を思い出すと、なぜか眠気も布団がふつ飛ぶようになくなり、「限界はない」との気持ちを切り替えることができました。そして、結果は「合格」。

家族・友達や先輩が大声を出して喜んでくれました。そこで感じた最初の気持ちが「感謝」でした。

喜怒哀楽を感じる出来事は、自然と思い出します。考えてみれば「あの人のおかげで・あの人のおかげで…」など、誰か“が”います。その人たちのおかげで今の自分があると思うと「出合い、関わってくれる人たちに常に感謝」と思うようになりました。そうしているうちに、多くの人に「成長したね」「別人のように大きくなつたね」と認めてもらつことがあります。「経験」と「感謝」は僕にとって、「成長＝前に進む」へと繋がるレギュラーガソリンです。

利用者様や外来のこどもたちの笑顔はプレミアムガソリンです。人によって感じ方や考え方はいろいろですが、みなさんは何を燃料にして、毎日を頑張つていますか？

この施設での経験は、私にとって人生を変えたと言つてもいいほどの大切な思い出です。感謝の気持ちでいっぱいです。

毎年年末に「扶養控除（異動申告書）」と「保険料控除兼配偶者特別控除申告書」の提出を全職員にお願いしています。この申告書が年末調整に必要なことはご存知ですかね？毎月給料から所得税が差し引かれているのに改めて年末に計算するのは、ほとんどの場合差し引かれた所得税の合計額と本來納める所得税額が一致しないからです。毎月差引く所得税には生命保険料などの控除額は考慮されません。また扶養人数の増減も一致しない要因となります。

なぜ事業主にこれら申告書の提出が必要か知っていますか？基本的に給料の支払いを受けている人は給与支払い者に扶養控除申告書を提出する義務があります。例え扶養している人がいなくても、氏名・生年月日・住所等の箇所しか記入することがなくとも、必ず提出が必要です。では提出しないとどうなるのかというと…毎月の所得税が高くなります。（私も数年前

年末調整のお話

事務



事務 綱川 咲恵

扶養控除申告書で扶養親族の有無、障がい者に該当するか、寡婦（夫）であるか、勤労学生であるか等を、保険料控除申告書でその年に支払った生命保険料等を申告することによって皆さんの所得税が決まるります。

扶養控除申告書で扶養親族の有無、障がい者に該当するか、寡婦（夫）であるか、勤労学生であるか等を、保険料控除申告書でその年に支払った生命保険料等を申告することによって皆さんの所得税が決まるります。





保護者の皆様から



私のこころのよりどころ

後藤 恭子

園長先生をはじめスタッフの皆様にいつも大変お世話になっています。私の家族は4歳になる息子がショートステイやリハビリを利用しています。

息子は出産時のトラブルに遇い、重症新生児仮死として生まれてきました。出産当日まで母子共に元気だったので何の心配もなく、当然元気に生まれるものだと、産後の楽しい生活や初孫に喜ぶ両親の顔を思い浮かべていました。しかし、現実は想像もつかない状況になりました。産後すぐにNICUに運ばれ、3日生きるかわからないと言われ、たくさんの管につながれ、泣きもしない動きもしない息子を見ていると、前日までお腹で元気に動いていたのに涙が止まりませんでした。3日の山を越えると、次は「1週間は厳しい」、次は「1ヶ月は…」と、毎回毎回厳しい言葉ばかり。泣きもしない、笑いもしない、動きもしない息子を見ていると、機械で生かされているだけなのではないのか、無理にキツイことをさせているだけではないのか、延命治療はせずに早くラクにさせてあげた方がこの子の為になるので

はないのか…とか、そんなことをずっと考えていました。しかし6ヶ月が過ぎた頃から呼吸器をつけて家に帰れるとの話が出た時、息子と家で過ごせるという嬉しさと自由に外出もできなくなるという不安がありました。恵の聖母さんを紹介してもらい、何かある時は助けてもらえるんだと思うと、すごく安心できだし、心の支えになりました。

やはり在宅介護の生活を実際にみてみると、肉体的な疲れや精神的浮き沈みもあります。そんな時に少し預かっていただきリフレッシュできると、また頑張ろうって思えるようになります。下の子が生まれ、息子が妹の泣き声に少し反応をみせるようになったり、体調が悪い時は顔つきが変わったり、ほんの少しの反応ですが感じ取れるようになりました。今では、あの時息子は死んだ方がいいんじゃないかと思った自分が情けなくなります。

力強く生きる4歳の息子を見ることができ、楽しく在宅介護の生活が送られているのは、疲れた時に手をさしのべて下さる恵の聖母の家の皆様のお陰だと感謝してもしきれないぐらいです。私の心のよりどころです。今後ともよろしくお願い致します。



(写真：廐廐あがれ♪2012年1月短期入所時)

支援学校訪問教室



学校との架け橋

臼杵支援学校 田中 慶子

訪問教育学級の担任になり、1年が過ぎようとしています。週2回の訪問ですが、毎回とても楽しみにしています。それは、恵の聖母の家の職員のみなさんや、入所されているみなさんの明るい笑顔に会えるからです。訪問授業の朝、恵の聖母の家の玄関に入ると、まず事務室の方々が笑顔で迎えてくださいます。そして廊下でも、行き交う職員の方々はいつもすてきな笑顔で挨拶をしてくださいます。授業をさせていただいている「あゆみ病棟」に着く頃には、私もすっかり穏やかで明るい気持ちになっています。このような環境の中で授業できることに、毎回感謝の気持ちでいっぱいになります。

授業をする部屋には、学級の児童を含め、4人の方がいらっしゃいます。「おはよう」と声をかけると、目を動かしたり、笑顔になったり、じっと見つめたりして挨拶をしてくださいます。担当児童のAさんも、ベッドの上で柔らかい日差しを受けながら、穏やかな表情をして迎えてくれます。

授業の始まりには、『おはよう』の歌を歌います。学校の同じクラスの児童と先生の歌声が入ったCDを聞きながら歌います。間奏には児童一人一人からの「おはよう」の声も入っていて呼びかけてくれます。歌が始まると、Aさんの顔色がぱっと良くなったり同室の方が目を覚ましたり、歌うように声を出したりする様子がみられ、とても嬉しくなります。

授業では、ベッドの上で過ごすことが多い訪問学級の児童に外の世界や学校を少しでも感じてもらえるように、マッサージしながら語りかけたり、季節の草花や物を触ったり香りを嗅いだりしています。また、学校の友だちの様子や授業を撮った動画をiPadで見たり聞いたり、創作活動を通じていろいろな物を触ったり見たりしています。

一方学校では、訪問授業の様子を同じクラスの友だちに折りをみては話し、違う場所で学習していくも仲間であることを伝えています。

その甲斐あってか、毎年8月に支援学校の先生方が来園して行われる『ふれあい交流会』に、今年度は同じクラスの友だちが来てくれました。

これからも、訪問教育が学校との架け橋になれるよう、また、訪問学級の児童も同室の方も楽しめるような授業を目指して努力していきたいと思います。

(左上写真：三学期始業式)



☆ ぴかぴか ぴかぴか ぴかぴか ☆

新しく入られたスタッフをご紹介します。①お名前②職種③お住まい④趣味⑤一言



①山部知宏さん②言語聴覚士③大分市④旅行です。国内旅行では日本をだいたいまわりました。食べ物がおいしいところとかも参考に場所を選んでいます。中でも高知と愛媛の県境にある四国カルストには、その意外な広がりに驚きました。他に地元のレトロな商店街とかが好きです。⑤前の職場では成人の嚥下の訓練を得意としていました。小児の方にも慣れていくたいと思います。よろしくお願ひします。



①寺嶋裕美さん②看護師③佐伯市④子どもとドライブをするのが好きです。⑤子どもたちも託児所で預かってもらっています。親子ともどもよろしくお願ひします。



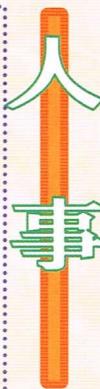
①立花睦子さん②調剤助手③津久見市④パンやお菓子作りです。菓子パン等、いろんなものを作り楽しんでいます。⑤2013年12月から調剤助手をしています。よろしくお願ひします。

社会福祉法人 恵の聖母会 創立30周年記念事業
恵の聖母の家
記念講演会
3.11を生きぬいた重い障がいのある子どもたち
～支援活動から得られた防災対策～
講演I
災害対策として何を備えるべきか
株式会社アライフ代表取締役 武山裕一氏
講演II
災害からどう逃げのびるか、
その後をどこで過ごすか
東北大学病院小児科 准教授 田中統一郎氏
日時 平成26年 6月15日(日)午前9:45開会
会場 白杵市民会館 入場無料
◆式典進行 9:45開会式 10:00記念講演 11:30閉会式
主催 社会福祉法人 恵の聖母会 恵の聖母の家
お問い合わせ先 恵の聖母の家 電話 0974-32-7770

お知らせ

▼恵の聖母の家ではフェイスブックを開設しています。ボランティアの方々による公演の様子等、動画も含めて少しずつアップしていますので、ご覧いただけます。詳しく述べるとあります。恵の聖母の家は平成二十五年十月に開設三十周年を迎えました。それに伴い記念講演を行いました。詳しくは当施設までお問い合わせ下さい。

▼退職
作業療法士 永坂潤一さん
二〇一三年十一月一日付
看護師 寺嶋裕美
二〇一四年二月一日付



春は新しい生活の季節でもあります。三月上旬に支援学校の卒業式があり、児童発達支援センターの利用者の中にも一名の方が小学部から中学部へ、一名の方が中学部から高等部へ進みました。他に、高等部の方一名が隣の市にある生活介護事業所で新しい生活を始められる予定です。児童発達支援センターめぐみともお別れになります。

彼が通っていたのは臼杵市とは別の支援学校でした。放課後ティイの利用は豊後大野市三重町の菅尾小学校で通学バスからめぐみの車両に乗り換えて当事業所に来られる形でした。十五分から二十分の送迎の中では今日の予定や車窓から見える外の様子、そして車の進行方向等を指さしで支援者に教えてくれました。とても楽しい時間でした。めぐみ以外の放課後等ディイも利用されていて、いろんな方々と共に支援させていただいたなあと感じています。それぞれの事業所がある期間に役割を担って支援を行い、門出を祝うことができるのも通所ならではと感じます。今年卒業され、新しい生活にのぞまれる皆さんに豊かなお恵みがありますように。(松山)

徒然

春は新しい生活の季節でもあります。三月上旬に支援学校の卒業式があり、児童発達支援センターの利用者の中にも一名の方が小学部から中学部へ、一名の方が中学部から高等部へ進みました。他に、高等部の方一名が隣の市にある生活介護事業所で新しい生活を始められる予定です。児童発達支援センターめぐみともお別れになります。

彼が通っていたのは臼杵市とは別の支援学校でした。放課後ティイの利用は豊後大野市三重町の菅尾小学校で通学バスからめぐみの車両に乗り換えて当事業所に来られる形でした。十五分から二十分の送迎の中では今日の予定や車窓から見える外の様子、そして車の進行方向等を指さしで支援者に教えてくれました。とても楽しい時間でした。めぐみ以外の放課後等ディイも利用されていて、いろんな方々と共に支援させていただいたなあと感じています。それぞれの事業所がある期間に役割を担って支援を行い、門出を祝うことができるのも通所ならではと感じます。今年卒業され、新しい生活にのぞまれる皆さんに豊かなお恵みがありますように。(松山)

行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ●…個別面談 □…権利擁護・虐待防止部会 ㊣…全体朝礼 ㊂…労働安全衛生委員会 ①…リスクマネジメント部会 ③…入浴日

2014年4月			5月			6月			7月		
1 火	㊣◎		1 木			1 日			1 火	㊣	
2 水	㊣	③	2 金	③	2 月		③	2	水	㊣	③
3 木	吉四六ランド	3 土			3 火	㊣◎		3 木			
4 金	㊣	③	4 日		4 水	㊣	③	4 金	㊣	③	
5 土		5 月			5 木			5 土			
6 日		6 火		③	6 金	㊣	③	6 日			
7 月		7 水	㊣	③	7 土			7 月			③
8 火	◎	8 木	臼杵石仏	8 日				8 火	◎		
9 水		9 金	③	9 月		③	9 水				③
10 木	道の駅きよかわ	10 土			10 火			10 木	明野アクロス		
11 金		③ 11 日			11 水		③	11 金			③
12 土		12 月			12 木	ふれあい運動会 総練習		12 土			
13 日		13 火	㊣◎	③	13 金		③	13 日			
14 月		③ 14 水			14 土	30周年園内講演会		14 月			③
15 火	◎	15 木			15 日	30周年記念講演会 ・誕生会		15 火	◎		
16 水		③ 16 金	㊣	③	16 月		③	16 水			③
17 木	①	17 土			17 火	◎		17 木	①		
18 金		③ 18 日	ルルド祭・誕生会		18 水		③	18 金			
19 土		19 月	③	19 木	①			19 土			③
20 日	復活祭ミサ・誕生会	20 火	◎		20 金		③	20 日			誕生会
21 月		③ 21 水		③	21 土	ふれあい運動会		21 月			③
22 火	◎●	22 木	臼杵石仏	①	22 日			22 火	◎●		
23 水		③ 23 金		③	23 月		③	23 水			③
24 木	リバーパーク犬養	24 土			24 火	◎●		24 木	臼杵マルショク		
25 金		③ 25 日			25 水		③	25 金			③
26 土		26 月	③	26 木	道の駅みえ			26 土	ボランティア公演		
27 日		27 火	◎●		27 金		③	27 日			
28 月		③ 28 水		③	28 土			28 月			③
29 火		29 木	うみたまご	29 日				29 火	◎		
30 水		③ 30 金		③	30 月		③	30 水			③
		31 土						31 木			

※予定変更の場合があります。

編集後記

震災から3年が経ちましたが、復興はまだまだのように思われます。2014年度が皆さんにとりましていい年になりますように。よろしくお願い申し上げます。(S・M)

※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。